

外来担当医表

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	内科	山田 公文	市原 金森	松本 山口	稲田 金森	市原 稲田	市原 松本
	整形外科 外科	岡庭	岡庭	岡庭	岡庭	院長	第1.3院長 第2.4.5岡庭 第4太田
	小児科	長江 下窪	長江 下窪	長江 下窪	長江	長江 下窪	下窪 第2.4.5長江
	検査		腹部エコー野田 胃カメラ山田		胃カメラ 腹部エコー 松本	頸動脈エコー	胃カメラ (第2・4) 山田
午後 14:00~16:00	内科	市原	山田	浅井	森田	松本	
	整形外科 外科	院長		岡庭		岡庭	
	小児科	長江 下窪	下窪	予防接種 乳児健診	長江	下窪	
	検査	大腸ファイバー 山田・松本 頸動脈エコー	心エコー 市原	胃ろう交換 工藤・松本 頸動脈エコー		心エコー 市原	
夕方 16:00~16:30	小児科	予防接種	予防接種			予防接種	
夜間 17:30~19:30	内科	市原 第1.3.5野口 第2.4足立和		市原 八木		松本 第1.3.5足立百 第2.4杉山	
	整形外科 外科	岡庭 (院長)		柿沼		岡庭 太田	
	小児科	長江		下窪 ※		長江	

※毎週水曜日(16:30~18:30) 夜尿症・肥満専門外来:長江医師(予約制)

周辺地図



瀬戸市コミュニティバス時刻表

中心市街地線 南山町乗り場		
	尾張瀬戸駅→中水野	中水野→尾張瀬戸駅
1	7:45	8:31
2	9:22	9:56
3	10:47	11:41
4	12:27	13:41
5	14:27	15:01
6	15:55	16:31
7	17:25	18:06

<職員募集> 看護師・准看護師募集中 担当 大塚・菊池まで



笑顔

医療法人 青山病院

瀬戸市南山町1-53
TEL (0561) 82-1118 小児予約専用(0561) 82-1822
内科、胃腸科、循環器科、整形外科、外科、小児科、アレルギー科
リハビリテーション科、放射線科、血液透析センター
<http://www.seto-aoyama.jp>

基本理念

- ・思いやりと対話の医療を推進します。
- ・安全で納得できる医療を目指します。
- ・病める人々の権利とプライバシーを尊重します。

青山病院看護部 看護部長 大塚 絹代

私たちの病院は地域に根差す病院です。創立以来、受け継がれている基本理念の柱は、「思いやり」です。相手の立場や気持ちを理解する心を持ち、「主役は患者さま」である事を意図しています。本来「病院」の語源は「人々をおもてなしする場所」から派生しています。患者さまに安全・安心で信頼がかけられて親しみやすい病院、この病院で診てもらって良かったと感じていただけるよう、笑顔・挨拶・身だしなみ、ことば遣い、電話の対応など、患者さまに接する態度、接遇の改善に向けての職員教育に積極的に取り組んでいます。

普段患者さまと一番身近に接しているのが看護・介護スタッフです。その者たちが所属している青山病院看護部について、簡単にご紹介いたします。看護・介護スタッフは総勢86名です。院内では一番の大所帯になります。正・准看護師62名をはじめ、介護福祉士、ヘルパー、医療クラークが看護師とともに働いて看護部という組織となっています。スタッフの中には勤続年数が長く、知識・技術の豊富な熟練者が多数います。このような熟練者が指導者となり、新人教育、院内教



育、部署ごとの勉強会、カンファレンスなどの機会に医療・看護の知識・技術を磨き、さらに患者さまとの関わりの中で「心」を学び、チーム全体のレベルアップができるように日々努力を続けています。

またお子さんを育てながら働くママさん看護師も多くいます。働きやすく家庭生活も大切にできる職場であるよう契約保育所の整備など子育て支援にも力を入れています。困ったときはお互いさま、助け合い、支えあう気持ちを土台に「思いやり」をもち協働しています。これからも私たちは医療者として、使命感を持ち、基本理念の意味を大切にして仕事を進めていきます。

私は、理学療法士です。

私は、理学療法士です。けがや病気で障害を負った方の、リハビリを行っています。青山病院に就職して10年が経ちました。子育てをしながら仕事を続けてこられたのは患者様や、病院職員の方々のお陰と思っています。とくに子供が小さい頃は病気がちで、長期にお休みをいただくこともあり、たくさんの方にご迷惑をおかけしましたが、リハビリスタッフの協力和皆様の温かい言葉に励まされ、ここまで来ることができました。

患者様に「子供さん元気？大きくなった？」、「仕事をしながらの子育て大変ね。」などと声をかけていただく事もありました。リハビリにみえる患者様なのでご自身も体調がわるいと思われるのに、私に声をかけて下さる心遣いにとてもうれしく思いました。個人と地域とのつながりが希薄であるといわれる中で大変恵まれた環境であると思います。また、私は患者様のリハビリのお手伝いをしていますが、逆に病院の外で患者様のお世話になることもあり、おたがいに助け合う社会があり、私もその一員であると感じることを嬉しく感じます。

当院では年に2回骨粗鬆症教室を開催しています。整形外科医師、管理栄養士、理学療法士が地域の方と一緒に、転ばないための体づくりの勉強や体操をします。日々の診療だけではなく、こうした活動を通じて障害の予防にも携わっていきたいです。そしてどんな方にも安心して治療を受けていただけるようなリハビリ室でありたいと思っています。これからも皆様と一緒に心身共に健康な毎日を送れるようにがんばっていきたいです。

リハビリテーション科 主任 竹下 久美子

言語聴覚士ってなんだろう？

この4月より、リハビリテーション科に新たに言語聴覚士が加わりました。「言語聴覚士ってなんだろう？」と思われる方も多いと思いますので、簡単にご紹介させていただきます。

言語聴覚士は病気やけがなどが原因で言葉がうまく理解できなくなったり、はっきり話せなくなってしまった方や、食べ物や、飲み物をうまく飲み込めなくなってしまった方を対象に訓練や指導を行います。患者様に言葉が「わかる」、「話せる」という喜びを感じていただくため、また食べ物や飲み物を「食べられる」、「飲める」という喜びを感じていただく為に日々業務に励んでいます。

通常は患者様のお部屋を回り、ベッドの上でのリハビリを行うことが多いのですが、時には言語聴覚室という個室を使用してリハビリを行うこともあります。言語聴覚室では落ち着いた環境でお話することができる為、「ちょっと話づらいな・・・」といったお話でもゆっくりとお話することができます。言語聴覚室はリハビリ室がある廊下のつきあたりにあります。相談などございましたらお気軽にいらして下さい。

言語聴覚士 原田 雅也



ご存知ですか「処方薬」と「市販薬」

薬剤科

薬には、医師が出す処方箋で購入できる医療用医薬品（処方薬）と、薬局・薬店で薬剤師や登録販売者から購入できる一般用医薬品（市販薬）があります。

【医療用医薬品】は、医師が、患者様の症状や体質に合わせ、オーダーメイドで単剤を処方している事が特徴です。1錠に、1種類の有効成分が配合されている薬を組み合わせるため、症状が複雑になると、多数の薬になる事もあります。最近では、配合錠と呼ばれる1錠に2種類の成分が含まれる薬品が増えつつあります。

その指示書となる処方箋は、薬の種類や服用量、投与方法など、詳細な情報を医師から薬剤師に引継ぐ大切な書類です。有効成分の配合量も一般用医薬品よりも多く、効き目はシャープですが、使い方には十分な注意が必要です。自己判断で服用を止めたり、残した分を後日使いまわしたりするのは控え、用法・用量を守って服用しましょう。

【一般用医薬品】は、多くの方が安心して使用できるよう、安全性の高い成分が使われています。有効成分の量も控えめに設計されている事が多いので、副作用が起りにくく効き目も穏やかです。一つの薬で、幅広い症状に対処できるよう、予め複数の成分が配合されているのが特徴です。飲み始めて3~4日経っても症状が改善されない場合には（違う病気の可能性もありますので）必ず医療機関を受診しましょう。

2009年6月施行の改正薬事法では、一般用医薬品が安全性別に第一~三类医薬品に分けられ、薬局・薬店でより安全に、かつ有効に薬を購入できるようになりました。中でも、効き目が高い第一類に分類される、医療用医薬品から一般用医薬品へ転用されたスイッチOTC薬が、今後はますます増える傾向にあります。

このように処方箋が無いと買えなかった薬が、一部、薬局・薬店でも購入可能になりました。しかしその服用管理については今まで以上に注意が必要です。特に高血圧や糖尿病などの慢性疾患や持病で長期に医療用医薬品を服用している方の一般用医薬品の服用については、必ず医師や薬剤師に相談しましょう。また普段から「お薬手帳」を活用し、服用している薬を記録しておきましょう。

